

高学年総合

もっと知ろう！つながろう！

1学期の総合的な学習では、6年生は、平和学習「母子から平和の願いを届けよう」、5年生は、自然体験学習「発見！～認め合い、絆を深め、創り上げよう～」をテーマに進めてきました。

また、2・3学期には「神楽博士になろう」で、母子神楽について学習していきました。

「母子から平和の願いを届けよう」・・・6年生

6年生は、2学期の広島への修学旅行に向けて、戦争や平和について考えていきました。

永澤寺戦争体験

5月17日に永澤寺に行き、副住職の渡邊さんに戦争時代のお話を聞きました。

まず、「みたまの塔」に行き、戦争に行かれて亡くなった方々が供養されていることを知りました。21名亡くなり、その内2名はお寺の和尚さんだったそうです。亡くなった方のお骨も帰って来なかったことをお聞きしました。帰って来て箱を渡されても中は、見てはいけないことになっていたそうです。

また、お堂の中も案内していただきました。釘隠しの金属やお寺の鐘も武器を使うために持っていかれ、戦争が終わり、返って来たとしても別のお寺の物だったそうです。

最後に、梵鐘のところに行きました。渡邊さんが地域の方にその当時どう思っていたか聞いたとき、「みんなの前では言えないけれど、お寺の鐘を持って行くくらい国力が落ちている今、この戦争は負けるだろうと思った。」とおっしゃったそうです。みんなで平和への願いをこめて鐘をつかせていただきました。



折り鶴を届けよう

「さだ子と千羽づる」のお話を読み、自分たちもヒロシマへ千羽鶴を折り、捧げようという話になりました。そして、全校生やお家の人、地域の人に千羽鶴を協力して折ってもらいました。

修学旅行当日は、「平和の子の像」の前で母子平和宣言を読み上げ、「折り鶴」を歌い、平和セレモニーを行いました。最後に千羽鶴を捧げることができました。全国の学校から捧げられている折り鶴を見て、平和の思いがつながっていくことの大切さを感じました。



「発見！～認め合い、絆を深め、創り上げよう～」・・・5年生

母子小学校は、小野小学校、志手原小学校の児童と合同で自然学校を行います。

6月に初めて3校の児童が集まり、事前交流会を行いました。生活班でそれぞれの役割を決めた後、藍染めを行いました。

そしていよいよ7月3日～7日に右のような日程で自然学校へ出発しました。

釣り・浜遊び・ウミホタルの観察では、海とふれあい、思う存分楽しみました。

スノーケルと磯観察では、普段なかなか触れ合うことのできない海の生き物たちをたくさん見て、ふれることができました。ほかにもカヌー・カヤック、野外炊事など学校では体験できない活動をたくさんし、小野小学校や志手原小学校の友だち、15人全員で自然学校を作り上げました。

5日間、自然とふれあい、とても充実した時間を過ごすことができました。



7月3日
はじめての集い
つり体験
浜遊び
ウミホタル観察会
7月4日
スノーケル体験
磯観察
7月5日
カッター体験
カヌーカヤック体験
7月6日
スプーン作り
野外炊事
キャンプファイヤー
7月7日
アスレチック

「神楽博士になろう」

今年度は、今まで神楽についてあまり調べたことがなかったもので、神楽について調べることになりました。

そこで、神楽について知らないことをたくさん出し、神楽の先生にインタビューしました。

インタビューをして、神楽は三重県の伊勢神宮から習ってきて母子で始められたそうです。

神楽の舞の種類についても、小学校でしているものだけではなく、たくさんの種類があることを教えていただきました。

最後に、「どんな想いで神楽をされていますか。」というおたずねに対して、「自分がやらなければという使命感を持ってしている。」「少なくとも自分の代ではなくしたくないという想いでしている。」というお話を聞かせていただきました。

自分たちが普段している神楽に対して、深くまなぶことができました。

○成果と課題

今年も地域の方々にたくさんお世話になり、総合的な学習を行うことができました。永澤寺での平和学習を通して母子でも戦争が行われた時代があることを知りました。また、神楽の先生のインタビューを通して、神楽を存続していきたいという神楽の先生の熱い想いにふれました。

子どもたちがふるさと母子について深く学習することができるのも地域の方々の協力があってこそです。これからも子どもたちがふるさと母子をより深く知り、愛することのできるよう学習を支えていきたいです。

